

信州大学知の森基金を活用したグローバル人材育成のための短期学生海外派遣プログラム  
実施状況および成果(広報用)

プログラム名	ベトナムFPT大学ビジネス英語及び グローバルインターンシップ・プログラム	
学部・研究科名	グローバル教育推進センター	
プログラム 実施期間	2019年2月20日～3月17日	
研修先(国・都市・施設名)	ベトナム・ダナン・FPT大学/提携企業・機関	
参加者数	23名	知の森からの支援者：8名
プログラム概要	全学部生及び修士学生を対象にFPT大学(大学間協定校)と協同実施するプログラム。FPT大学は国際指向の高いIT技術系大学であり、英語で履修できるコースも多く備えるとともに、幅広い業界のグローバル企業と提携したインターンシッププログラムも備えている。本プログラムはこの環境を活かし、最初にビジネス英語を集中的に学び、業務に必要なコミュニケーション基礎力を養成した後、現地機関でのインターンシップを通じて、グローバル視野で展開されるビジネスや教育現場の実際に触れるコース、参加者がすぐにもつ知識とスキルをグローバル企業での実践的な課題の解決施策に応用展開するインターンシップを3週間集中的に行うコースの2種を提供するものである。課外ではバイタリティ溢れる現地学生や他国の留学生たちとの寮での共同生活、文化交流イベントの中での英語コミュニケーションを通じて異文化理解を深め、多様な個を尊重し、高めあうマインドを養成する。	

実施状況・成果

<ビジネス英語2週間+インターンシップ1週間>  
アウトプットとインプットをバランスよく組み込んだビジネス英語授業をとおして、英語での発信力を向上させ、インターンシップ派遣先機関でのプレゼンテーションや教育機関での授業、ホテルでの接客にも自信を持って臨むことができた。その後、ICT、Hospitality、Educationから学生が選んだ分野の企業/機関でのインターンシップを行った。教育機関では現地高校生に日本文化を紹介する授業を英語で行った。ホテルではベッドメイキング、受付、ドリンクサービス等の実際の業務を担当。IT企業では企業製品についての理解を深めたり、実際に動いているプロジェクトのテスト等に参加するという経験を積んだ。異なる文化背景を持つ人々と働くという体験を通して、グローバル人材に必要な能力について理解を深めることができた。具体的にはコミュニケーション能力、チームワーク、より専門的な知識や能力が挙げられた。

<インターンシップ3週間>  
グローバルに事業を展開し、世界各国の学生を受入れる大学の国際部署で主に学生受入に関わるインターンシップ活動を行った。タイ人学生の異文化体験ツアーのサポート、これからベトナムに渡航する外国人留学生向けのパンフレットの作成、日本人学生と他国の留学生との交流アクティビティの企画等、留学生がベトナムの生活に早く順応できるためのサポートを行い、自身の経験や日本人の視点からアイデアを出し、提案・実行するという経験を積んだ。現地スタッフとのやり取りや、留学生のサポートをとおして、グローバル人材に必要な能力としてビジネス英語コースの学生と同様の気付きに加え、互いの価値観を共有し、尊重する姿勢の重要性が挙げられた。

両コースともに学生寮では、ベトナム、ブルネイ、タイの学生との共同生活を通して異文化理解を深め、国際的視野を広げると同時に友好的関係を築くことができた。特に同アジアに住む英語がネイティブでない者同士の交流を通じて、英語を流暢に話す学生から刺激を受け、英語学習に対するモチベーションを高めるとともにコミュニケーションツールとしての英語の重要性に気付くことができた。その他、週末に行われた異文化体験ツアーではベトナムの歴史や文化を学び、日本文化紹介イベントでは学生が主体となって日本文化を発信した。

成果報告会では、研修を通じて学んだことを英語でディスカッションやグループ・プレゼンテーションした。お互いの発表を聞く中で、他の参加者の異なる視点での気付きに驚きや感銘を受ける学生も多く、新たな視点で研修を振り返るよききっかけとなった。ほとんどの学生が今回の体験や成果をポジティブに捉え、更なるレベルアップに向けて今後も取り組んでいく意思表示をしていたことに熱意を感じ、プログラムの成果を確認することができた。

学生の声①-織維学部 学生

今回の研修で生活や英語授業、インターンシップで積極的に英語を使っていくことで、英語を日本語と同様、自分の考えを伝えるツールとして考えられるようになった。初めは語彙力や文法を使いこなせていないという自信のなさから英語に苦手意識を持っていたが、難しい文法を使いこなすよりも自信を持って話したほうが相手に伝わると考えたほうが上手いくと気付くことができた。今回が初めての海外留学でベトナム文化には驚かされる事が多くあったが、それらについて追及していくとそれぞれにちゃんと理由がある事と知ることができ、それを楽しむことができた。そして異文化理解にはやはり相手のこともちゃんと知ろうという思いが必要だと感じた。

学生の声②-工学部 学生

今回の留学を体験したことで、海外で生活することや仕事をする事、そして自身の英語力に関する考え方が変わり、今後自分がやりたいことや、やらなければならないことが具体化していったように感じた。また、言語も文化も異なるベトナムで生活してみて、多くの人と交流し、互いに協力、競争、評価することの面白さや得られることの大きさを実感した。

ホテルでのインターンシップの様子



日本文化紹介イベント

